

\*\*\*\*\*  
蓬萊町だより  
\*\*\*\*\*

第七十六号

平成22年1月25日

発行者 蓬萊町会

編集者 文化部

町内探訪 (3)

蓬萊句壇を訪ねて

今回の町内探訪は、長年、蓬萊町だよりに俳句を発表してきた蓬萊句壇を取り上げました。

はじめに、蓬萊句壇を主宰してこられた池田暉氏に句壇の紹介をしていただきます。



池田 暉氏

蓬萊句壇のこと

私が俳句の仲間に入ったのは、昭和五十八年、当時、都庁の広報に関わる出版社をされて居られた、古川沛雨亭師に「俳句を着に酒を楽しむ集い」(椿句会)に誘われたのがきっかけです。メンバーは都庁関係の人や国立劇場の楽屋句会の方々で多士済々でした。たまたま、その二年前に「蓬萊町の一世紀を祝う会」が海蔵寺を会場にして盛大に行われました。その折、頼まれて「蓬萊町を中心とした世事年表」をプリントしました。翌年一月に「蓬萊町だより」が創刊され現在に至っております。私が言い出しっぺでしたので編集を担当したのですが、紙面の割付に苦労して、思いついたのが「穴埋め」に「句壇」を入れてはと言う事で、町会に「俳句会」を創って「蓬萊句壇」欄が出来ました。「蓬萊町だより」第六号には、今は故人となられましたが、当時すでに喜寿を越えられていた翁松男さんが「萩寺になに祈りおる老夫婦」、堀江広明さんが「残り香にふと振り向けば萩の花」、青木喜一さんが「今宵月の故里思ふ夫婦かな」と詠んでいます。

昭和六十年の新年会は、既に廃業して終いましたが、根津宮永町の「中新」で開かれ、鈴木笑子さんが「ぬくもりも硝子越しなる寒日和」の句で「天」を取りました。その前年、「六義園」

に吟行し、その記事を、堀江ひろしさんが書かれています。当日の、沛雨亭師の句は「秋草に湯呑みの白湯をこぼしけり」という春燈系の秀句でした。

「蓬萊町だより」十一号には、「向島百花園」での吟行会が、楠真幸さんの手になる吟行記として載っています。此の時の「天」は坂本禎一さんの「鳥交る百花の庭の屋下がり」でした。その後、去年(平成二十一年)の春ごろ迄途絶えることなく句会を続けてきましたが、事務方を引き受けて居られた小野向雪さんが急逝されましたので、一時解散いたしました。残りのメンバーは、「椿句会」に合流しました。「蓬萊句壇」についてその生り初めを知る方も少なくなりましたので、一端をお伝えします。

「俳句」に興味のある方は気楽にご相談下さい。

池田 暉 (南北)



池田暉氏の自費出版の句集

町内の皆様の中に、蓬萊町だよりに掲載される蓬萊句壇を楽しみにしている俳句好きの方も多いのではないだろうか。これから俳句を本格的に始めてみたいと思っている方もおられるでしょう。しかし、初心者からすると、句会と

言うとかかすごく高尚なことやっているように、敷居が高いものです。これから俳句をはじめてみたいという方の参考に、池田暉さんに句会がどのように行われているのか、お話を聞きしました。

蓬萊町の句会を始めた頃は、初めて俳句を作る方がたくさんいたようで、最初は、俳句幼稚園とも呼んでいたようです。季語を必ず入れる、季重ね（例えば、夏の季語と秋の季語が入っている）はいけない、表現をできるだけ省略する、などの俳句のイロハを、先生や先輩方が初心者に指導したそうです。

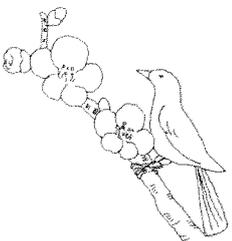
句会には、兼題という予め出された題に対して俳句を作って持ち寄るやり方、少し上達してくると、席題という句会の場で出される題に対してその場で俳句を作るやり方、その両方を併用するやり方などがあります。できた俳句は清書されて作者名を付けずに回覧され、参加者それぞれが自分の好きな句を選び点数をつける選句を行います。そして、点数の多い順に、天、地、人という順位がつけられます。高順位の人には賞品や賞金が出ることもあります。江戸時代に

は、句会が盛んに行われ、松尾芭蕉などのプロの俳諧師は、スポンサーのついた句会で賞金を稼いでいたようです。

一緒に旅行に出かけて俳句を作る吟行や、前の人を作った句につなげて俳句を作っていく連句というものもあります。連句は、子供がよくやる尻取り遊びと似たようなもので、子供の尻取りが字をつなげていくのに対して、連句は意味をつなげていくというものです。五句目に花の句を入れる、十句目に恋の句を入れるなどの制約を入れ、言葉の技を競い合います。おとなの言葉遊びといったところでしょうか。連句は二人でもできます。家族や友人と、遊び感覚で始めてみるのも面白いかもしれません。

俳句はボケ防止にも役立ちます。特に、男の人は定年になると、うっかりすると社会と断絶しボケてしまいがちです。寄り集まって、お互いの俳句を披露し合い、人と交流することがボケ防止に打ってつけのようです。

蓬萊町の句会は昨年活動を休止しましたが、長年続いていた町内の句会がなくなるのは誠に残念です。蓬萊町の句会の復活を心から願っています。



### 蓬萊句壇

蓬萊町だより第四号から第七十五号に掲載された俳句選（編集委員会選）

あられ盛り川に押し出す流し難

寿

秋蝶のふるまい淡き恋に似て

もと子

ゆく年を惜しみて裁てり縞つむぎ

もと子

穂の芽を土産に友の国なまり

あきら

献体の手続きすませさくら餅

松夫

春眠や猫の爪とぐ音遠し

貞子

那須岳に雪型のこし春来る

笑子

花もよし酒ある方へ往くもよし

あきら

湯帰りの女の匂いとすれ違い

藤太郎

歓声はコートにひびきこぼれ萩

スエ

雲水の読経も沁みる底の冷え

喜一

青だたみ踏む足裏の師走かな

連木

初菝燦然として朝熊山

笑子

初句会天井高き大書院

喜一

役を退く心仕度の師走かな

千重

初芝居まき手拭いもはなだ色

連木

一月の句を書きとむる墨淡し

沛雨亭

穏やかに二百十日の句吟かな

真幸

鯉の背のキラリと秋の陽を返す	文江	句歴五年句を食む虫となりけり	向雪	嬌声は出会い頭の水鉄砲	たかを
妻黙し一夜机上の秋ざくら	ひろし	薬売り景物はいつもの紙風船	向雪	勝った子も濡れて帰るや水鉄砲	小糸
遠山を背にしろがねの芒かな	笑子	背負籠に草餅ありや問ふて見む	礼子	見境もなく浴びせけり水鉄砲	七重
白魚のつるりとぬけしのどぼとけ	連木	傘持たぬ二人に小止やむ春の雨	向雪	魚ねらう小癩な野良に水鉄砲	連木
五月雨や落つるしずくの順不同	連木	いさかいの口の端悔ゆる夜の秋	すえ	苗代の静かに水の動きかな	七重
病濃く枇杷の包みをほどこかね	禎一	佳き事に使ふと決めて新小豆	マス子	野仏に捧げる花は曼珠沙華	七重
木目浮く床板の艶走り梅雨	喜一	爽秋や黒光りする自在鉋	喜一	新酒酌む宿は出湯の米処	玉寿郎
羅のかくすと見せてかくさざる	連木	小豆煮る香りがさそう峠茶屋	連木	紅葉狩り話の戸口探りつつ	蓼雨
梅雨寒や二階の塾のひそとして	喜一	初夢や届かぬ思いとどきけり	連木	冬茜天女の羽衣あたたためて	向雪
春風もすれ違うてや桜橋	えみ子	亡父詠む句に涙して秋の夜	沛寿	血糖値良しと云われて梨旨し	栄子
レガッタの櫂のしぶきや花見橋	たかし	朝曇り円く治まるニコライ堂	向雪	意に染まぬ事二つ三つ秋の川	うさぎ
切れ長の眸に二度出会う螢の夜	ひろし	五月晴れ五臓にしみる深呼吸	七重	角帯を結びて過ぎす夜の秋	沛寿
夕陽射す細い坂道百日紅	千重	朝曇り今日怠け日と一人決め	小糸	懐かしき探偵小説葛屋敷	つぐを
よみがえる若さの揃い浴衣かな	ひろし	バスを待つ童女あやとる冬の午後	七重	天の川星を掴んでみたくなり	栄子
初刷も乗せ上野登二十二時	連木	矢面に立つときもあり為朝忌	雅美	六義園ライトアップの灯の寒し	沛寿
夏羽織父の齡と並びけり	スエ	点滴に預けし命春陽さす	吹雪	尻あちら向きこちら向き浅蜷採り	としを
夏羽織着て木場堀の夕げしき	沛雨亭	襟足の黒子みられし踊り髪	雅美		
春の雨開きしままの時刻表	帰蝶	負け菊に水遣る菊の主かな	向雪		
茅柳の風にもつれて光おり	千重	腰痛の長引き候寝正月	沛寿		
路地裏の茅動ぜずとも日脚伸ぶ	千重	風花や紬の袖に戯れり	七重		
水仙の荷を解き了へし頃の雨	すえ	冬晴れや遺骨に被すゴルフ帽	小糸		
無造作に割るシェフ若し寒卵	沛雨亭	朝焼けの浜に沖見る泊まり人	沛寿		
岳友のこだま乗せくる青葉風	笑子	菖蒲湯で菖蒲はちまき幼き日	栄子		
寒に入る一針ごとの衣の音	すえ	銭湯の富士の絵に撃つ水鉄砲	卿雨		

### 投句の募集について

蓬萊句壇に載せる俳句を募集します。  
是非ご応募ください。  
メールで送って頂くか、猪熊宅まで  
お届け下さい。

メールアドレス

ryoichi.inokuma@nifty.com

# 町会活動の概要

平成21年6月から  
平成21年11月まで

## 平成21年

- 7/5 「婦人部」駒込母の会総会
- 7 青少年対策向丘地区委員会自転車教室と餅つき会
- 10 21年度第1回地域支援協議会 駒本小学校
- 10 区報配布
- 12 定例役員会
- 12 21年度第1回スクールガード 意見交換会
- 14 大観音盆踊り大会町会間打合 光源寺
- 18 「婦人部」資源回収
- 25 区報配布
- 7/5 大観音盆踊り大会実行委員会
- 6 文京つっじ会総会 根津神社
- 10 区報配布
- 13 根津神社総会
- 13 定例役員会
- 15 「婦人部」日本赤十字・献血 シビックセンター
- 16 「婦人部」資源回収
- 23 「婦人部」根津神社・除草
- 25 駒本小学校スクールガード 安全マップ作り
- 25 区報配布
- 25 青少年対策向丘地区委員会 六中プール開放
- 8/5 大観音盆踊り大会実行委員会
- 10 区報配布
- 17 大観音盆踊り大会事務局打合せ
- 20 「婦人部」資源回収
- 23 大観音盆踊り大会 23、24日、25日(後片付け)
- 25 区報配布
- 30 「防災部」文京区防災訓練 小石川運動場
- 9/4 「交通部」駒込交通安全協会理事会 駒込警察署
- 5 「婦人部」白山商店街盆踊り参加
- 7 「婦人部」文京釣友会 天ぷら会手伝い 海蔵寺
- 10 区報配布
- 10 「婦人部」日赤奉仕活動 くすのきの郷
- 12 定例役員会
- 12 青少年対策向丘地区委員会「講演と日本の音色演奏」
- 17 「婦人部」敬老のお祝い
- 17 「婦人部」資源回収
- 18 「防犯部」駒込防犯協会全体会議 駒込警察署
- 24 「交通部」全国交通安全運動(21、30日) かねこ前交差点・街頭指導
- 25 区報配布
- 26 「婦人部」駒込警察署 防犯キャンペーン
- 10/4 「防犯部」本郷消防団合同練習 東大農学部グラウンド
- 4 「文化部」大観音盆踊り大会 ご苦労会
- 5 「婦人部」日赤献血 東洋大学
- 6 部長会 下期予算配分 常瑞寺会館
- 10 区報配布
- 12 定例役員会
- 14 駒本小学校スクールガード 通学路点検巡回
- 14 駒込母の会50周年記念行事
- 15 「婦人部」資源回収
- 25 区報配布
- 11/1 青少年対策向丘地区委員会 「自然の中でいろいろ体験」 茨城県稲敷市
- 10 区報配布
- 11 駒本小学校55周年記念式典
- 12 定例役員会
- 12 「防災部」本郷防火の集い
- 12 「婦人部」日赤研修会 区民センター
- 14 「婦人部」向丘地区町会連合会 婦人部施設見学会
- 18 「婦人部」本郷消防署 視察研修会

## 計報

- 19 「婦人部」日赤献血 東大健康センター
  - 19 「婦人部」資源回収
  - 21 「交通部」駒込交通安全協会理事会 駒込警察署
  - 25 区報配布
  - 竹沢 芳子 様 92歳 向丘2 | 25 | 1
  - 福島 春夫 様 78歳 向丘2 | 30 | 8
  - 早川 誠一 様 81歳 向丘2 | 27 | 13
  - 真下みやこ 様 86歳 向丘2 | 16 | 10
- 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。  
今年も寅年、「寅は千里をかける」といいます。  
昨年7月に蓬萊町のホームページを開設しましたが、ホームページに載せた盆踊りの案内を見て、渋谷にお住まいの若い女性の方が、遠路わが街の盆踊りにきていました。ホームページの反響の大きさに驚くと同時にその女性の行動力にも驚かされました。インターネットの普及と相俟って、世界はますます狭く、人の行動範囲はますます広がっているようです。  
充実した幸多き年でありませうお祈りいたします。

編集委員 本城康至・坂本禎一・原通夫  
和田わかな・猪熊良一